

県の対応状況について

1 県の体制

(1) 情報収集体制

発災後直ちに災害情報集約センターを設置し、情報収集体制を継続中

(2) 災害支援対策本部幹事会

【4月15日8時30分】

岐阜県災害支援対策本部第1回幹事会を開催し、次の事項について確認・徹底を実施

- ① 県内に被害がないことを確認 ※県内：海津市（震度1）
- ② 県に対して現時点で支援要請がないことを確認
- ③ 今後、支援等の要請があった場合への準備を徹底

【4月15日16時30分】

岐阜県災害支援対策本部第2回幹事会を開催し、次の事項について確認・徹底を実施

- ① 県の支援状況について
- ② 熊本県内に滞在中の県民の安否確認状況
- ③ 今後の支援要請等を想定した対応・連絡体制

(3) 災害支援対策本部

【4月17日18時00分】

地震被害が拡大し、県の支援が必要と認められるため、岐阜県災害支援対策本部を設置

【4月18日13時00分】

岐阜県災害支援対策本部会議を開催

2 県の対応

(1) 支援要請に対する対応

①警察庁関係

○ 県警広域緊急援助隊の派遣

警備部隊（約50名）派遣

【九州・沖縄、中国・四国、近畿、東海・北陸、関東（※全県ではない）に出動要請】

- 4/16 5:20 岐阜県広域緊急援助隊 警備部隊出発
※交通部隊待機中
- 4/16 14:50 県警より、岐阜県部隊広島通過中との連絡
- 4/16 22:48 熊本市運動公園到着・待機
- 4/17 8:40 熊本市運動公園出発
- 4/17 9:24 益城町到着
- 4/17 16:00 益城町福原にて捜索活動開始

②厚生労働省関係

○ DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣

4/17 15:37 厚労省DMAT事務局から中部・関東ブロックに派遣要請

→（派遣決定）

- ・直ちに、待機中であった5チームの派遣を決定
- ・派遣チームから、4月18日（月）18:00、福岡空港に集合する旨連絡あり

（日程）

- ・活動開始日、活動期間は未定

（派遣チームの編成）

- ・岐阜大学医学部付属病院
5名（医師2名、看護師2名、事務職員1名）
- ・岐阜市民病院
6名（医師2名、看護師2名、事務職員2名）
- ・大垣市民病院
6名（医師2名、看護師2名、事務職員2名）
- ・木沢記念病院
5名（医師1名、看護師2名、事務職員2名）
- ・中津川市民病院
5名（医師2名、看護師2名、事務職員1名）

○ 保健師の派遣

4/16 20:30 厚生労働省健康局から派遣要請

→ (日程 (予定))

- ・ 4月19日 (火) から1班ずつ、5泊6日で派遣予定

(編成)

- ・ 保健師2名、県事務職員1名の計3名で1班を編成
- ・ 初班のみ3名に加え、保健医療課保健師1名が現地確認のため同行

(活動地域)

- ・ 熊本県 上益城郡 山都町 (かみましきぐん やまとちょう)

○ DPAT (災害派遣精神医療チーム) の派遣

4/16 13:00 厚労省DPAT事務局から派遣の検討要請

→ (日程)

- ・ 第1班を派遣する方向で調整中
- ・ 派遣開始日は未定
- ・ 派遣期間は概ね1班につき6泊7日

(編成)

- ・ 医師1名、保健師2名、事務職員1名の計4名で1班を編成

③消防庁関係

○ 簡易トイレの支援

4/17 0:35 支援の可能性について消防庁から照会あり

→ 「広域防災センター備蓄分は支援可能、輸送手段は要検討」と報告済み (消防庁から「必要があれば、再度連絡する」とのこと)

(2) 義援金の受付対応

- ・ 4月18日 (月) 正午、日本赤十字社岐阜県支部が義援金窓口を開設
- ・ 上記開設に合わせ、健康福祉部が主な県施設で義援箱を設置

(3) 高速道路の災害支援無料化

被災地救援等のために使用する車両に対し、災害救助法に基づく「災害派遣等従事車両証明書」を発行

- ・ 期 間：平成28年4月17日～6月30日（熊本県HP）
- ・ 申込先：各都道府県又は各市町村
- ・ 対象車両：①被災者の避難所又は被災した区市町村の災害対策本部（物資集積所を含む）への救援物資等を輸送するための車両
②被災地の復旧・復興にあたるための物資・人員等を輸送するための車両
③自治体が災害救援のために使用する車両

(4) 「人と防災未来センター」へ派遣中の県職員の活用

「人と防災未来センター」（神戸市）へ派遣中の県職員1名が、4月18日～20日まで、関西広域連合の現地対策本部（熊本県庁）にて活動予定